

令和 5 年 6 月 23 日現在

機関番号：15401

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2017～2022

課題番号：17K17952

研究課題名（和文）宝塚歌劇の質的変遷 地域芸能からグローバルなマスメディアへ

研究課題名（英文）Takarazuka Revue's Metamorphosis: From a Local Stage Art Towards a Global Medium

研究代表者

GRAJDIAN MARIA・MIHAELA (GRAJDIAN, Maria Mihaela)

広島大学・人間社会科学研究科（総）・准教授

研究者番号：40732425

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,100,000 円

研究成果の概要（和文）：本研究では、宝塚歌劇を日本の代表的マス・メディアの現象として分析されている。歴史的視点を乗り越えながら、現在日本の社会にインパクトを観察され、そして、将来的要素などは計算されている。現象学的経験に基づいて公演の内容は中心になり、ファンクラブ活動に参加観察という研究方法を利用し、資料収集と参考文献は理論的分析の基礎になっている。研究の結果は、2023年中出版される英語とドイツ語の著書になっていて、そして、日本語の著書の予定もある。また、国際学会に宝塚歌劇というマス・メディアに関して、多くの発表があり、その上で、国際学術ジャーナルなどで宝塚歌劇の関連性とインパクトに関して論文は出版されている。

研究成果の学術的意義や社会的意義

宝塚歌劇の関連性とインパクトは、歴史的視野を超越し、将来を構想する、本研究の最終的結論だ。つまり、解釈学的分析の結果は、後期近代の社会（日本）の4つ主要分野（文化、社会、経済、政治）と2つの二次的分野（テクノロジー、教育）を考慮しながら、宝塚歌劇の「社会の鏡」と「ロール・モデル」という二つの弁証法的役目を分析し、将来向き評価をし、そして、歴史の流れを計算しようとする、ということだ。また、宝塚歌劇団と観客の間に行う緊張関係は、歴史的に批判的に観察され、日本のエリートと一般の民衆の間にテンション・ポイントが明らかになる、本研究の目標だ。

研究成果の概要（英文）：This research project has been analyzing Takarazuka Revue as a representative mass-media phenomenon in late-modern Japan. The approach transcends Takarazuka Revue's historical contextualization as this has been repeatedly addressed in previous research by numerous analysts and focuses on Takarazuka Revue's impact on present-day Japan so that future elements can be calculated or at least estimated. Phenomenological experience has allowed for the performances themselves to appear in the foreground, in parallel with participatory observation in fan clubs' activities, the collection of informative materials (partially from archives) in addition to the formation of a theoretical foundation for the analytical endeavor itself. The results of the current research project will be summed up in two books in English and German to be published at international publishing houses during 2023 and a Japanese version in the next years.

研究分野：メディア学

キーワード：宝塚歌劇 後期近代日本 現象学的経験 参加観察 生公演 ファンクラブ活動 解釈学的分析 大衆歌劇

## 1．研究開始当初の背景

2002 年から研究し続けている宝塚歌劇を、本研究では、以前のアプローチから離れて、新たな視点から解釈を求めてきた。以前、2002-2004 年に修士論文において、Judith Butler のジェンダー理論を利用し、生公演中発生される男性性と女性性の絵センスを分析した。また、2004-2009 年、博士論文のため、後期近代のアイデンティティの構造を分析し、Ludwig Wittgenstein の言語理論と Zygmunt Bauman の液体化アイデンティティの理論に基づいて、宝塚歌劇の公演や、パフォーマンスの思想主義や、公式マーケティング戦略や、ファンクラブとの交渉などを観察し、後期近代にあたっている「アイデンティティ」という概念は作られていた。そして、本研究には、ジェンダーとアイデンティティの討論から離れて、マス・メディアとしての宝塚歌劇を観察し、マス・メディアやコミュニケーション理論を利用し、グローバル化される宝塚歌劇の構造を分析している。

## 2．研究の目的

本研究は、メディア学、ファン・ロイヤルティ、ポストメディア世界における宝塚歌劇の関連性に焦点を当てた、有名な宝塚歌劇に関する 6 年間にわたる包括的な研究になるという目的だ。宝塚歌劇は、全員が女性である日本の歌劇であり、100 年間以上にわたって観客を魅了してきた。本研究は、定性的手法と定量的手法を組み合わせた学際的なアプローチを通じて、メディアの影響力、観客の忠誠心、デジタル時代の進化するメディア環境の間の複雑な力関係を調査することを目的としている。この調査結果は、宝塚歌劇の永続的な魅力とポスト・メディアの世界でのその位置に光を当てている。

つまり、宝塚歌劇はエンターテインメント業界の中で独特の地位を占め、国内外で熱狂的なファンを集めている。本研究は、宝塚歌劇に対するファン・ロイヤルティに寄与する要因を調査するとともに、このロイヤルティの形成と維持におけるメディアの役割を調査することを目的としていた。さらに、従来のメディアとデジタル・メディアが共存するポスト・メディアの世界に宝塚歌劇がどのように適応しているかを調査した。

本研究では、インタビュー、調査、内容分析、民族誌的観察などの混合方法アプローチが採用された。6 年間にわたって、ファン、出演者、制作スタッフ、メディア・プラットフォーム、オンライン・コミュニティなどの様々なソースからデータが収集された。定性的データにより、ファン・ロイヤルティの感情的および文化的側面についての洞察が得られ、定量的データによりパターンと傾向を特定することができた。

メディア学の視点から見ると、マス・メディアは、宝塚歌劇に対するファン・ロイヤルティを形成する上で重要な役割を果たした。メディア報道の分析により、戦略的プロモーションと報道管理を通じて公共の関心を生み出し、維持する宝塚歌劇の能力が実証されました。ファンと宝塚歌劇の自体の両方によるソーシャル・メディア・プラットフォームの使用により、交流、関与、オンライン・コミュニティの形成が促進された。これらのプラットフォームは、ファンが献身を表現し、経験を共有し、志を同じくする人々とつながるためのスペースも提供し、忠誠心を増幅させた。

ファン・ロイヤルティの視点から見ると、調査により、宝塚歌劇に対するファン・ロイヤルティはいくつかの重要な要因に深く根ざしていることが明らかになった。第一に、女性が男性と女性の両方のキャラクターを演じるレビューの明確な性別役割は、社会規範に挑戦し、ファンに力を与える感覚を与える。さらに、ファンベース内の緊密なコミュニティは、強い帰属意識と共有された経験を育みます。高品質のパフォーマンスを提供し、伝統の感覚を維持するというレビューの取り組みも、ファン・ロイヤルティを高める。

ポスト・メディアの世界の視点から見ると、本研究の目的は、宝塚歌劇がポスト・メディアの世界に適応していることを浮き彫りにした。メディア消費パターンの変化に対応して、宝塚歌劇はデジタル・プラットフォームを採用してリーチを拡大し、世界中の視聴者と関わった。ライブ・ストリーミングされたパフォーマンス、公式ソーシャル・メディア・アカウント、オンライン・グッズ販売により、物理的な劇場を超えて宝塚歌劇のファン・ベースが拡大した。しかし、本研究では、視聴者の注意の断片化や、エンターテインメントの選択肢が豊富な時代にファン・ロイヤルティを維持するための革新的なマーケティング戦略の必要性など、ポスト・メディアの世界がもたらす課題も明らかになった。

結論として、宝塚歌劇のファン・ロイヤルティ、メディア学、ポスト・メディアの世界に関する、この6年間の研究は、この象徴的な団体の永続的な魅力についての貴重な洞察を提供する。ファン・ロイヤルティは、宝塚歌劇の独特の性別役割、共同体意識、伝統への取り組みに影響を受けていることが判明した。従来型とデジタルの両方のメディアは、この忠誠心を維持し拡大する上で重要な役割を果たした。さらに、宝塚歌劇はポスト・メディアの世界にうまく適応し、関連性を維持し、世界的な関与を促進するためにデジタル・プラットフォームを採用した。本研究は、ファン文化、メディアのダイナミクス、デジタル時代の進化するエンターテインメントの状況の理解に貢献する。今後の研究では、競争が激化するポスト・メディア世界で視聴者を引きつけ、維持するための戦略に焦点を当て、ファン・ロイヤルティと進化するメディア・テクノロジーの交差点をより深く研究する可能性がある。

本研究は、メディア・コミュニケーション学と、ファン・ロイヤルティという社会学的理論と、ポスト・メディアという理論的アプローチのレンズを通して、近代日本における宝塚歌劇という現象の進化と重要性を研究過程の中心を目的にしている。従って、公演実態の意外、マーケティング戦略、ファンや出演者とのインタビュー、様々なメディア・プラットフォームの分析が含まれていて、結果として、現代日本の社会に存在している宝塚歌劇(団)とそのファンと現代日本の社会に生きているファンとの間の複雑な関係に関して貴重な洞察を提供し、メディア研究とポスト・メディア時代の文脈におけるマス・メディアとして「歌劇」「演劇」の役割に光を当てている。歴史的背景、ファン文化、宝塚歌劇の人気に対するメディア表現の影響を探って、その結果は、メディア、ファン、進化するメディア環境の間の複雑な力学に光を当て、ファン・ロイヤルティとデジタルな時代における伝統的なパフォーマンス芸術の適応を理解したり、解釈したりできるための洞察を提供する。

その上で本研究は、メディア研究の観点に焦点を当て、ファン・ロイヤルティ(観客の忠誠心)の現象を掘り下げ、宝塚歌劇の人気の形成と維持におけるポスト・メディア・アプロ

チの役割を探ります。つまり、宝塚歌劇、そのファン層、そして変化するメディア情勢の間の複雑な関係についての洞察を得るために、生公演観劇、現地調査、参与観察、インタビュー、コンテンツ分析、資料館の資料参考を含む包括的なデータ収集が行われて、宝塚歌劇は、主要な発見、示唆、さらなる研究への推奨事項に焦点を当てている。

本研究の過程と結果に基づいて本は、以下通りの内容になる予定だ。

1. 序章：ポスト・メディア時代における宝塚歌劇
  - 1.1 背景と意義
  - 1.2 研究の目的
  - 1.3 研究方法
2. 宝塚歌劇の歴史を振り返る：社会の鏡と社会へのロール・モデルの間の緊張関係に存在しているマス・メディアへ
  - 2.1 起源と発展
  - 2.2 宝塚歌劇の公演構成
  - 2.3 文化的および社会的影響
3. マス・メディア研究の視点：表現と受容
  - 3.1 宝塚歌劇のメディア報道
  - 3.2 メディアコンテンツのファン消費量
  - 3.3 性同一性とパフォーマンス
4. ファン・ロイヤルティとディーブ・ファンダム：生産者の革命的思想主義を挑戦する消費者の保守的期待・依頼・憧れ
  - 4.1 ファン、ファン・コミュニティ、ファン・クラブと自由の想像
  - 4.2 ファンダムとエンゲージメント
  - 4.3 ファンの習慣と儀式
5. ポスト・メディア・アプローチ：デジタル時代の宝塚歌劇を再考する
  - 5.1 変化するメディア情勢とポスト・メディア概念
  - 5.2 ポスト・メディア時代への宝塚歌劇の適応
  - 5.3 オンラインとオフラインの間に行う参加型文化
6. 調査結果と議論
  - 6.1 メディア研究：固定観念、表現、ファンの受け入れ
  - 6.2 ファンダムという新定義：動機、アイデンティティ、感情的つながり
  - 6.3 ポスト・メディア・アプローチ：境界の曖昧さとファンのエンパワーメント
7. 影響と将来の方向性
  - 7.1 メディア研究における宝塚歌劇の関連性
  - 7.2 ファン・ロイヤルティとエンゲージメントを育む

### 7.3 持続可能性のためのポスト・メディア概念の採用

## 8. 結論

### 8.1 調査結果の概要

### 8.2 既存の文献への貢献

### 8.3 最終的な考えと推奨事項

## 9. 参考文献

## 10. 付録

### 10.1 面接の質問と成績証明書

### 10.2 メディア分析フレームワーク

### 10.3 調査データ分析

## 3. 研究の方法

一番基本的研究方法は現地調査である。つまり、生公演を観劇するだけでなく、ファンクラブ活動に参加をし、観客とインフォーマルなインタビューを行いながら、特にリーピーターというファングループを観察している。その上で、参与観察という研究方法は自分での研究者として様々な研究分野に入り込んで、実験的な出来事を体験している。また、現象学的経験という方法は、参考文献に頼らずに、生産者としても、消費者としても、宝塚歌劇を経験している。同時に、歴史的資料を収集して、最後に全てを合わせて、解釈学的分析を行うというプロトコールだ。

## 4. 研究成果

本研究成果として、日本国内でも海外でも、伝統を変容してきている現象としての宝塚歌劇に関して複数の学術発表を行って、査読の学術論文が出版されて、そして、英語とドイツ語の著書は出版される予定になっている。以前、宝塚歌劇は歴史の流れの中で観察されていたが、本研究では、歴史を乗り越えるということが確認されてきた。つまり、歴史の弁証法に従わずに、宝塚歌劇は歴史を作るということだ。また、宝塚歌劇を文化的消費という資本主義的制度の中に存在しながら、ポスト資本主義のメカニズムやポスト人間性の構造を作り出すことも観察ができるようになっている。結論的に、「歴史の終わり」というものを芸術的道具で超越し、将来の現れを作り出すということだ。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計57件（うち査読付論文 52件／うち国際共著 52件／うちオープンアクセス 42件）

1. 著者名 Maria Grajdian	4. 巻 4
2. 論文標題 Connecting Fantasy Worlds and Nostalgia: Miyazaki Goro's Animation Movies	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of The Russian Association of Japanese Studies	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Maria Grajdian	4. 巻 -
2. 論文標題 Cyberspaces of Loneliness: The Long Decline of Japanese Masculinity	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 On Continuity and Change in Asia, Olomouc Asian Studies series	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Maria Grajdian	4. 巻 -
2. 論文標題 Takarazuka Revue in Reiwa period: The Fourth Wave of Rewriting the Past	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Practicing Japan: 35 Years of Japanese Studies in Poznan and Krakow	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Maria Grajdian	4. 巻 -
2. 論文標題 Between a Rock and a Hard Place: The Representation of War, Death and Suffering in Takarazuka Revue's Performance Strategy	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The Annals of West University of Timisoara. Humanities Series, Special Issue: Modern Japan	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Maria Grajdian	4. 巻 17-18
2. 論文標題 Lost and Found in Translation: Takarazuka Revue 's Cooperation with Gerard Presgurvic	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Concordia Discors vs Discordia Concors: Researches into Comparative Literature	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Maria Grajdian	4. 巻 10
2. 論文標題 Masculinity (Re-)Formulation and Nation (Re-)Branding: Takarazuka Revue 's Cooperation with Dove Attia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Crossing Boundaries in Culture and Communication: Topics in Cultural Studies	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Maria Grajdian	4. 巻 -
2. 論文標題 Three Paradigms of Animation Soundtracks: The Japanese Experience and Tenmon 's Contribution	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 The Palgrave Handbook of Music and Sound in Japanese Animation	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Maria Grajdian	4. 巻 -
2. 論文標題 Transcending Animation Soundtracks: Tomita Isao and the Versatility of Music between Cross-Cultural Epigonism and Ultimate Mastery	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 The Palgrave Handbook of Music and Sound in Japanese Animation	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Maria Grajdian	4. 巻 -
2. 論文標題 Towards a Phenomenology of Awe: On Educational Ecologies in Blade Runner (1982, 2017), Baymax and Beyond	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 The Journal of Environmental Education, Special Issue The Praxis and Imaginary of Environmental and Sustainability Education in the Capitalocene	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Maria Grajdian	4. 巻 34
2. 論文標題 4. Pragmatism, Compassion and Love: A Comparative Analysis between Ponpoko: The Heisei Tanuki War (Takahata Isao/Studio Ghibli, 1994) and The Nut Job 2: Nutty by Nature (Cal Brunker/Open Road Films & al., 2017)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Brukenthalia 2023	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Maria Grajdian	4. 巻 -
2. 論文標題 Education as Subversive Practice: Takarazuka Revue's Performative Re-Enactments of the Cold War	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Educational Theory and Philosophy	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Maria Grajdian, Satoshi Kotake	4. 巻 1
2. 論文標題 "To Love or Not To Love": The Romeo and Juliet Franchise and Its Global Ramifications	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Essence and Critique Journal of Literature and Drama	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する



1. 著者名 Maria Grajdian, Satoshi Kotake	4. 巻 15-16
2. 論文標題 Exploring Hybridity: Kanno Yoko, Takarazuka Revue and the Subversive Dynamics of (Soft) Power in Late-Modern Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Concordia Discors vs Discordia Concors: Semanticity, Alterity, Creativity: Building on Eugenio Coseriu's Legacy	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Maria Grajdian	4. 巻 5
2. 論文標題 Reformulating the Classics: Folkloric Transcendence and the Bushido Ideology in Takarazuka Revue's Performance Strategy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 postmoder Mythologies	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Maria Grajdian	4. 巻 -
2. 論文標題 Vulnerable Masculinity: Emotional Transcendence and the Re-Framing of the Bushido in Takarazuka Revue's Performance Strategy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Vulnerable. Representing Vulnerability in Literature and Film	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Maria Grajdian	4. 巻 2
2. 論文標題 I Love, Therefore I Am: Dismantling the Cartesian Dichotomy and Unifying the Self in Ghost in the Shell	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Synergy, Journal of the Department of Modern Languages and Business Communication	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN Maria Mihaela	4. 巻 -
2. 論文標題 Between a Rock and a Hard Place: The Representation of War, Death and Suffering in Takarazuka Revue's Performance Strategy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brukenthalia	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN Maria Mihaela	4. 巻 -
2. 論文標題 Compassionate Neo-Traditionalism in Hosoda Mamoru's Animation Movies	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Synergy	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN Maria Mihaela	4. 巻 32
2. 論文標題 Social Critique and Visionarism in Kon Satoshi's Animation Movies	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Yearbook of "Dimitrie Cantemir" Christian University	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN Maria Mihaela	4. 巻 -
2. 論文標題 Connecting Fantasy Worlds and Nostalgia: Miyazaki Goro's Animation Movies	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Yearbook of the Bucharest University, History	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN Maria Mihaela	4. 巻 31
2. 論文標題 In Search of (Lost) Masculinity: Understanding Shinkai Makoto 's Animation Movies of the Last Decade	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Yearbook of "Dimitrie Cantemir" Christian University	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN Maria Mihaela	4. 巻 11
2. 論文標題 Exuberant or Uncanny? Femininity at Crossroads in Yonebayashi Hiromasa 's Animation Movies	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Crossing Boundaries in Culture and Communication, Topics in Cultural Studies	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN Maria Mihaela	4. 巻 -
2. 論文標題 May the Love be with you!: From the Joy of Life to the Transcendence of Existence in Takahata Isao 's Animation Works	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Yearbook of the Bucharest University, History	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN Maria Mihaela	4. 巻 30
2. 論文標題 The Warrior and the Seducer: Late-Modern Masculinity between Napoleon and Casanova in Takarazuka Revue 's Public Display of Affection(s)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Yearbook of "Dimitrie Cantemir" Christian University	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN Maria Mihaela	4. 巻 -
2. 論文標題 Exploring Tenmon 's Music: Anime Soundtracks and Their Progression from Engulfing Rites of Passage towards Empowering Journeys of Self-Discovery	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mechademia 2020	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN Maria Mihaela	4. 巻 9/1
2. 論文標題 Cyberspaces of Loneliness: The Long Decline of Japanese Masculinity	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of popular Romance Studies, special issue, Sexting, Romance and Intimacy	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN Maria Mihaela	4. 巻 -
2. 論文標題 Folkloric Innuendoes and the Redemptive Power of Love: The Legend of King Arthur and Its Global Ramifications	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Postmodern Mythologies	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN Maria Mihaela	4. 巻 -
2. 論文標題 Uncanny Soundscapes: Japanoise, Masculinity and the Joy of (Structured) Chaos	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Muzica, Journal of the Romanian Association of Composers and Musicologists	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN Maria Mihaela	4. 巻 -
2. 論文標題 Pragmatic U-Turns: Unity in Diversity and the Discomfort of Self-Representation in Takarazuka Revue 's Performance Strategy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Dialogos	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 21
2. 論文標題 Musical Selves: Anime soundtracks from domesticating plagiarism to hybridising authenticity	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Yearbook of "Dimitrie Cantemir" Christian University	6. 最初と最後の頁 131-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 2019/1
2. 論文標題 Back to the Roots: The representation of life and nature in Studio Ghibli 's anime works	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Brukenthalia	6. 最初と最後の頁 95-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 2019/2
2. 論文標題 The Invention of Traditions: The representation of family and community in Studio Ghibli 's anime works	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Brukenthalia	6. 最初と最後の頁 163-189
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 Cross-Temporality and the Re-Designing of Masculine Identity: Time paradoxes and the healing power of love in anime movie Your Name? (2016)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Crossing Boundaries in Culture and Communication: Topics in Cultural Studies	6. 最初と最後の頁 52-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 Cross-Mediality and the Invincibility of Vulnerability: The Rurouni Kenshin Phenomenon	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Dialogos, Journal of the Department of Modern Languages and Business Communication	6. 最初と最後の頁 112-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 The Lonely World of Virtual Love: Masculinity between self-eradication and neo-validation in late-modern Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Synergy, Journal of the Department of Modern Languages and Business Communication	6. 最初と最後の頁 45-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 "Nihon, mon amour": Japan's Paris and the Crossroads of History	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japanese Studies: Tokens and Manifestations	6. 最初と最後の頁 75-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 26
2. 論文標題 What Is a Man? An anthropological inquiry into the cross-cultural poetics and pragmatics of masculinity	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Yearbook of "Dimitrie Cantemir" Christian University	6. 最初と最後の頁 32-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 184
2. 論文標題 On Musical Vulnerability: The Joy of Life and the Power of Love as Expressed in Hisaishi Joe's Anime Soundtracks	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Muzica, Journal of the Romanian Association of Composers and Musicologists	6. 最初と最後の頁 62-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 Revisionism or Popular Liberalism? Studio Ghibli's 2013 anime works The Wind Rises and The Tale of Princess Kaguya	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 JAPANologists' Playground @ 2018	6. 最初と最後の頁 73-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 The Postfeminist Desire: Love, Capitalism, Japan: Mythological-Folkloric Foundations of Late-Modern (Cultural) Consumerism	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Postmodern Mythologies	6. 最初と最後の頁 81-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 Re-Framing Masculinity in Japan: Tom Cruise, The Last Samurai and the Fluid Metanarratives of History	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Starring Tom Cruise	6. 最初と最後の頁 57-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 "From Japan, With Love": Frozen and Baymax in Cross-Cultural Perspective	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Crossing Boundaries in Culture and Communication: Topics in Cultural Studies	6. 最初と最後の頁 153-178
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 28
2. 論文標題 Detachment and Isolationism or Expansion and Diversification? Zootopia and Angry Birds in Japanese Perspective	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Yearbook of "Dimitrie Cantemir" Christian University	6. 最初と最後の頁 121-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 Towards a Phenomenology of Seduction: From Julia Kristeva to Anti-Shojo	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Thinking with Animation	6. 最初と最後の頁 143-162
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 Fieldwork: A Journey Toward Myself	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Diggin' Up Music: Musikethnologie als Baustelle	6. 最初と最後の頁 90-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 Imperial Mythologies: Love, Nostalgia and the Dynamics of Cultural Imperialism in Late-Modern Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 MYTH, SYMBOL AND RITUAL: ELUCIDATORY PATHS TO THE FANTASTIC UNREALITY	6. 最初と最後の頁 281-298
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria; NICOLAE, Raluca	4. 巻 -
2. 論文標題 Maria Grajdian, Raluca Nicolae, Mythical Serenity Prayer. Ecology, Ethnic Humour and the Praise for Conviviality in the Anime Ponpoko: The Heisei Tanuki War (1994)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 MYTH, SYMBOL AND RITUAL: ELUCIDATORY PATHS TO THE FANTASTIC UNREALITY	6. 最初と最後の頁 299-320
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 7
2. 論文標題 Discourses of Longing: From strategic emotions to emotional strategies in Takarazuka Revue's tour in Berlin (2000)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Yearbook of "Dimitrie Cantemir" Christian University	6. 最初と最後の頁 82-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 30
2. 論文標題 Beyond the Music of Words: From the "sound of loneliness" to the "resonance of love" in Murakami Haruki's literature	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Musicology Today	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 18
2. 論文標題 The Return of the Feminine Woman, Or: On What The Tale of Princess Kaguya (Ghibli Studio, 2013) and Frozen (Walt Disney Pictures, 2013) Have in Common	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Japan: Premodern, Modern and Contemporary: Proceedings of the Third International Conference	6. 最初と最後の頁 81-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 3
2. 論文標題 Transcendental Predictability: On beauty, loss and remembrance in anime movie "The Tale of Princess Kaguya" (Takahata Isao/Ghibli Studio, 2013)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Romanian Economic and Business Review	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 1
2. 論文標題 "Love Thyself": A Comparison between the English and the Japanese versions of the title song in "Frozen" (Walt Disney Pictures, 2013)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Synergy, Journal of the Department of Modern Languages and Business Communication	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 The Renegotiation of Modernity: On teaching the dialectics of Japanese cultural imperialism, as reflected in the Rurouni Kenshin phenomenon	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Bringing Forth a New World: Engaged Pedagogy in the Japanese University	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 2
2. 論文標題 Songs of Revolution: The dialectics of Cultural Imperialism and the Nostalgia for Intellectual Activism in Late-Modern Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Dialogos, Journal of the Department of Modern Languages and Business Communication	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 2
2. 論文標題 Gender Acrobatics: The questionable liberalism of popular culture and the emergence of alternative masculinity patterns in late-modern Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Japan: Premodern, Modern and Contemporary: Proceedings of the Fourth International Conference	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 2
2. 論文標題 Love in the Digital Age: Online Dating and the Resurgence of Toxic Humanity	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Yearbook of the Bucharest University (History)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 巻 2
2. 論文標題 Alternative Realities, Alternative Masculinities: An empiric enquiry into Japan 's video game culture and its global impact	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Yearbook of the Bucharest University (History)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計62件 (うち招待講演 16件 / うち国際学会 56件)

1. 発表者名 Maria Grajdian
2. 発表標題 Miyazaki Hayao
3. 学会等名 Hiroshima International School (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Maria Grajdian
2. 発表標題 Shinkai Makoto
3. 学会等名 Hiroshima International School (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Maria Grajdian
2. 発表標題 令和時代の宝塚歌劇
3. 学会等名 関西大学 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1 . 発表者名 Maria Grajdian
2 . 発表標題 The Will To Live: Transcendental Ecologies and the Musicality of Identity in anime movie Ponpoko: The Heisei Tanuki War (1994, Studio Ghibli)
3 . 学会等名 Mechademia-Japan, Kyoto (Japan), online ( 国際学会 )
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Maria Grajdian
2 . 発表標題 Between a Rock and a Hard Place: The Representation of War, Death and Suffering in Takarazuka Revue 's Performance Strategy
3 . 学会等名 8th international conference Crossing Boundaries in Culture and Communication, Bucharest (Romania), online ( 国際学会 )
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Maria Grajdian
2 . 発表標題 Cyberspaces of Loneliness: The Long Decline of Japanese Masculinity
3 . 学会等名 8th international conference Crossing Boundaries in Culture and Communication, Bucharest (Romania), online ( 国際学会 )
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Maria Grajdian
2 . 発表標題 Exploring Hybridity: Kanno Yoko, Takarazuka Revue and the Subversive Dynamics of (Soft) Power in Late-Modern Japan
3 . 学会等名 23rd international conference of the European Association of Japanese Studies (EAJS), Lisbon (Portugal), online ( 国際学会 )
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Maria Grajdian
2 . 発表標題 I Love, Therefore I Am: Dismantling the Cartesian Dichotomy and Unifying the Self in Ghost in the Shell
3 . 学会等名 9th International Conference Synergies in Communication, Bucharest (Romania), online (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Maria Grajdian
2 . 発表標題 Towards A Phenomenology of Seduction: From Julia Kristeva 's Sujet en Proces to Anti-shojo
3 . 学会等名 international book presentation of Thinking with Animation, edited by Joff Bradley and Catherine Cheng (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Maria Grajdian
2 . 発表標題 The Redemptive Power of Love and Its Global Ramifications: Takarazuka Revue's The Legend of King Arthur (2016)
3 . 学会等名 Practicing Japan: 35 Years of Japanese Studies in Poznan and Krakow, Poznan/Krakow (Poland), online (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Maria Grajdian
2 . 発表標題 Between a Rock and a Hard Place: The Representation of War, Death and Suffering in Takarazuka Revue 's Performance Strategy
3 . 学会等名 International Symposium on Japanese Studies Japan and the World: Revisiting Cultural Encounters in the Global Era (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Maria Grajdian
2 . 発表標題 Reformulating the Classics: Folkloric Transcendence and the Bushido Ideology in Takarazuka Revue 's Performance Strategy
3 . 学会等名 “Folklore and Mythology Revisited” , 7th edition, Bucharest, Romania [online] ( 国際学会 )
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Maria Grajdian
2 . 発表標題 Voicing the Voiceless: Social Critique and Visionarism in Kon Satoshi 's Animation Movies
3 . 学会等名 Annual Conference on Asian Studies (ACAS), Olomouc, Czech Republic [online] ( 国際学会 )
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Maria Grajdian
2 . 発表標題 Pragmatism and Compassion: Unity within Diversity and the Discomfort of Self-Representation
3 . 学会等名 Second International Conference "Identity Politics in East-Asian Popular Culture", Fukuoka, Japan [online] ( 国際学会 )
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 GRAJDIAN Maria Mihaela
2 . 発表標題 Kiyoku, Tadashiku, Utsukushiku: Die Takarazuka Revue im Zeitalter der schoenen Harmonie / Kiyoku, Tadashiku, Utsukushiku: Takarazuka Revue in the Era of Beautiful Harmony
3 . 学会等名 OAGオーアーゲー・ドイツ東洋文化研究協会 ( 招待講演 ) ( 国際学会 )
4 . 発表年 2020年

1. 発表者名 SMITH Erika; GRAJDIAN Maria Mihaela
2. 発表標題 Examining Representations that Contribute to Our Understanding of What “Looking Japanese” Means in Contemporary Japanese Society 『現代の日本社会における「日本人に見える」とはどういう意味かを理解するのに役に立つ表現を調べること』
3. 学会等名 広島大学・学際研究会1（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 GRAJDIAN Maria Mihaela
2. 発表標題 Bushido & The Last Samurai (2003): Ethical Principles and Hierarchies of Values in Late Modernity
3. 学会等名 Workshops in Oecumenism and Theology（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 GRAJDIAN Maria Mihaela
2. 発表標題 Exuberant or Uncanny? Femininity at Crossroads in Yonebayashi Hiromasa's Animation Movies
3. 学会等名 Lectures in Japanese Popular Culture at University of Bucharest（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 GRAJDIAN Maria Mihaela
2. 発表標題 The Joy of Life at Crossroads in Takahata Isao's Animation Movie “The Tale of Princess Kaguya”
3. 学会等名 Lectures in Japanese Studies at Economic University of Bucharest（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年



1 . 発表者名 GRAJDIAN Maria Mihaela
2 . 発表標題 Femininity and the Transcendence of Love in Yonebayashi Hiromasa ' s Animation Movies
3 . 学会等名 8th international conference "Crossing Boundaries in Culture and Communication", Bucharest, Romania ( 国際学会 )
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 GRAJDIAN Maria Mihaela
2 . 発表標題 Transcending Non-Conformism: Femininity at Crossroads in Yonebayashi Hiromasa ' s Animation Movies
3 . 学会等名 8th International Conference Japanese Studies in Poland, Poznan, Poland ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 GRAJDIAN Maria Mihaela
2 . 発表標題 Exploring Otherness: Femininity at Crossroads in Yonebayashi Hiromasa ' s Anime Movies
3 . 学会等名 Anime Studies at Waseda University, Tokyo, Japan ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 GRAJDIAN Maria Mihaela
2 . 発表標題 Re-Framing Masculinity in Japan: Tom Cruise, " The Last Samurai " and the Fluid Metanarratives of History
3 . 学会等名 9th International Conference Synergies in Communication, Bucharest, Romania ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 GRAJDIAN Maria Mihaela
2 . 発表標題 Pragmatic U-Turns: Unity in Diversity and the Discomfort of Self-Representation in Takarazuka Revue 's Performance Strategy
3 . 学会等名 9th International Conference Synergies in Communication, Bucharest, Romania ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 GRAJDIAN Maria Mihaela
2 . 発表標題 Folkloric Innuendoes and the Redemptive Power of Love: The Legend of King Arthur and Its Global Ramifications
3 . 学会等名 6th International Conference “Folklore and Mythology Revisited ” , Bucharest, Romania ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 GRAJDIAN Maria Mihaela
2 . 発表標題 Rojin Z: The Poetics and Pragmatics of War-Machines as Demystifying Nostalgias
3 . 学会等名 7th international conference “Deleuze/Guattari Studies in Asia ” , Tokyo, Japan ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 GRAJDIAN Maria Mihaela
2 . 発表標題 Cyberspaces of Loneliness: Masculinity between Self-Eradication and Neo-Validation in Late-Modern Japan
3 . 学会等名 Cultural Typhoon 2019, Tokyo, Japan ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 The Rurouni Kenshin Phenomenon and the Cross-Medial Renegotiation of Japanese Modernity
3 . 学会等名 international workshop Mutual Images ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 Japan's Paris and the Crossroads of History
3 . 学会等名 6th edition of the international conference "Crossing Boundaries in Culture and Communication" ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 Cross-Temporality and the Re-Designing of Adolescent Identity: Time paradoxes and the healing power of love in anime movie Your Name? (2016)
3 . 学会等名 international workshop “ Sense of Time ” ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 The Rurouni Kenshin Phenomenon: Manga, Anime, Live-Action Movie, Theatrical Performance
3 . 学会等名 international conference Mechademia-Japan “ Manga Nexus: Movement, Stillness, Media ” ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 "Love Thyself": A Comparison between the English and the Japanese versions of the title song in Frozen (Walt Disney Pictures, 2013)
3 . 学会等名 international conference Interasia Popular Music Studies ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 The Rurouni Kenshin Phenomenon: Cross-Mediality, the Re-Invigoration of Tradition(s) and the Dialectics of Japanese Cultural Imperialism
3 . 学会等名 international conference Cultural Typhoon 2018 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 Alternative Realities, Alternative Masculinities: An Empiric Enquiry into Japan ' s Video Game Culture and Its Global Impact
3 . 学会等名 international conference " Japan between East and West " ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 Across the Glistening Stairways to Heaven: Takarazuka Revue ' s management of fandom and the politics of emotions in late-modern Japan
3 . 学会等名 international conference Mechademia USA " Transnational Fandoms " ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 The Postfeminist Desire: Love, Mythology and Capitalism in late-modern Japan
3 . 学会等名 international conference “Folklore and Mythology Revisited” ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 Cross-temporal rites of passage, alternative masculinity ideals and neo-traditionalism in anime movie Your Name? (2016)
3 . 学会等名 international Annual Conference on Asian Studies (ACAS) ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 Cross-Mediality and the Invincibility of Vulnerability: The Rurouni Kenshin Phenomenon
3 . 学会等名 7th International Conference "Synergies in Communication“ ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 The Lonely World of Virtual Love: Masculinity between self-eradication and neo-validation in late-modern Japan
3 . 学会等名 7th International Conference "Synergies in Communication“ ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 The re-negotiation of masculinity in anime movie Your Name? (2016)
3 . 学会等名 international conference “Japan: Fictions & Reality” ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 “Nihon, mon amour” : Japan's Paris and the Incommensurability of Desire
3 . 学会等名 13th Convention of the International Association for Japan Studies ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 “High Cost, High Risk, High Return” : Studio Ghibli ' s Animation Works as examples of Japan ' s Soft Power endeavors
3 . 学会等名 international conference Cultural Governance in Asia ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 academic workshop Traditional and Modern: The Universe of Ghibli Animation and Family Values in Contemporary Japan [Traditional si Modern: Universul animatiei Ghibli si valorile familiei in Japonia contemporana],
3 . 学会等名 University of Bucharest, Faculty of History ( 招待講演 )
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2. 発表標題 academic workshop Listening To the Voices of the Stars: The Redefinition of Love, Attachment and Emotional Involvement in Makoto Shinkai 's Animation Works [Ascultand Vocea Stelelor: Redefinirea conceptelor de iubire, atasament si implicare emotionala in lucrarile de animatie als lui Makoto Shinkai]
3. 学会等名 Bucharest University of Economics, Faculty of Intercultural Business Administration (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2. 発表標題 academic workshop Thus Spoke Buddha: The Religious Foundations of Japan 's Economic Power [Astfel Grai Buda: Fundamentele religioase ale puterii economice japoneze]
3. 学会等名 Lucian Blaga University of Sibiu, Faculty of Theology (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2. 発表標題 academic workshop 『伝統的芸能と近代後半マスメディアの間に存在する宝塚歌劇』 [Takarazuka Revue Between Traditional Stage-Arts and Late-Modern Mass-Media]
3. 学会等名 広島大学付属学校、課題研究高度化プログラム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2. 発表標題 The Universality of Adolescence: From the eradication of adolescence to the pursuit of joy as the core of adolescent identity in Makoto Shinkai 's animation works
3. 学会等名 学術ワークショップ (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 Traditie japoneza, modernitate occidentala, o formula de succes? Universul spectacolelor Takarazuka
3 . 学会等名 学術ワークショップ（招待講演）（国際学会）
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 Japan's Paris, or: On Humanity as Extension(s) of Media
3 . 学会等名 "Towards Post-Media Studies in Asia " , Tokyo University of the Arts, Tokyo, Japan, 27.-28. January 2018 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 Love in the Digital Age: Online-Dating and the Resurgence of Toxic Humanity
3 . 学会等名 "Digital Media and Borders: Infrastructures, Mobilities, Practices Across Asia and Beyond " , Lingnan University, Hong Kong, 7.-9. December 2017 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 Back to the Future, Reloaded: Cross-temporality, time paradoxes and the healing power of love in anime movie Your Name (2016)
3 . 学会等名 13th Convention of the International Association for Japan Studies, Waseda University, Tokyo, Japan, 2. December 2017 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年



1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 The Will To Live: Shang Shang Typhoon and the Musicality of Identity in anime movie Ponpoko: The Heisei Tanuki War (1994, Studio Ghibli/Takahata Isao)
3 . 学会等名 "RETI 2017 in Okinawa: Future Perspectives for Island Societies: Sustainability and Self-Management " , University of the Ryukyus, Okinawa, Japan, 17.-21. November 2017 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 Songs of Revolution in Takarazuka Revue: The dialectics of cultural imperialism and the nostalgia for intellectual activism in late-modern Japan
3 . 学会等名 6th International Conference "Synergies in Communication " , Bucharest University of Economic Studies, Bucharest, Romania, 16.-17. November 2017 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 "Love Thyself " : A Comparison between the English and the Japanese versions of the title song in " Frozen " (Walt Disney Pictures, 2013)
3 . 学会等名 6th International Conference "Synergies in Communication " , Bucharest University of Economic Studies, Bucharest, Romania, 16.-17. November 2017 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 The Will to Love: The flexible liberalism of popular culture and the emergence of alternative masculinity paradigms in late-modern Japan
3 . 学会等名 Second International Gender and Sexuality Studies Conference, University of Central Oklahoma, Oklahoma, USA, 28.-30. September 2017 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2. 発表標題 Modernity Revisited: The dialectics of revolution and the nostalgia for intellectual activism in Takarazuka Revue 's 1789: The Lovers of Bastille (2015)
3. 学会等名 “Japan between East and West”, Christian University "Dimitrie Cantemir“, Bucharest, Romania, 1.-3. September 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2. 発表標題 『君の名は』と思春期アイデンティティーの喜び ("Your Name" and the joy of adolescent identity)
3. 学会等名 “Open Lectures” at Nagasaki University, School of Global Humanities and Social Sciences, Nagasaki, Japan, 4.-7. August 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2. 発表標題 Towards a Phenomenology of Femininity: Julia Kristeva, Kanno Yoko and the power of sincerity in the anime TV series "Wolf 's Rain" (2004)
3. 学会等名 Inter-Asia Cultural Studies Conference, SungKongHoe University, Seoul, South Korea, 28.-30. July 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2. 発表標題 From Julia Kristeva to Kanno Yoko: Towards a Phenomenology of Femininity in the anime TV series Wolf 's Rain (2004)
3. 学会等名 Cultural Typhoon 2017, Waseda University, Tokyo, Japan, 24.-25. June 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 Humanity Re-Visited: Kindness, the Power of Love and the Dynamics of Japanese Cultural Imperialism in Bay Max (Big Hero 6, Walt Disney Pictures, 2014)
3 . 学会等名 Crossing Boundaries in Culture and Communication, Romanian-American University in collaboration with the Asian Studies Department, Romanian-American University, Bucharest, Romania, 18.-19. May 2017 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 Intersectional Contradictions: The flexible liberalism of popular culture and the emergence of alternative masculinity paradigms in late-modern Japan
3 . 学会等名 KFLC: The Languages, Literatures and Cultures Conference, University of Kentucky, Lexington/Kentucky, USA, 20.-22. April 2017 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 GRAJDIAN, Maria
2 . 発表標題 Gender Acrobatics: The questionable liberalism of popular culture and the emergence of alternative masculinity patterns in late-modern Japan
3 . 学会等名 American Men ' s Studies Association ' s 25th conference on Men and Masculinities, University of Michigan. Ann Arbor/Michigan, USA, 30. March- 2. April 2017 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

〔図書〕 計6件

1 . 著者名 Maria Grajdian	4 . 発行年 2022年
2 . 出版社 Palgrave	5 . 総ページ数 260
3 . 書名 The Archaeology of Desire: How Takarazuka Revue Has Impacted the World	

1. 著者名 GRAJDIAN Maria Mihaela	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Palgrave	5. 総ページ数 235
3. 書名 Takahata Isao (2nd edition)	

1. 著者名 GRAJDIAN Maria Mihaela	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Palgrave	5. 総ページ数 189
3. 書名 Post-Cold-War Japanese Animation: Five Directors and Their Visions	

1. 著者名 GRAJDIAN Maria Mihaela	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Iudicium Taschenbuch/OAG-Serie	5. 総ページ数 137
3. 書名 Im Zeichen der Liebe: Die Takarazuka Revue in der Reiwa-Zeit (In the Name of Love: Takarazuka Revue in Reiwa Era)	

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ProUniversitaria	5. 総ページ数 208
3. 書名 After Identity: Three Essays on the Musicality of Life	

1. 著者名 GRAJDIAN, Maria	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ProUniversitaria	5. 総ページ数 187
3. 書名 Cyberspaces of Loneliness: Love, Masculinity, Japan	

〔産業財産権〕

〔その他〕

特になし

#### 6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

#### 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計10件

国際研究集会 Kiyoku, Tadashiku, Utsukushiku: Die Takarazuka Revue im Zeitalter der schoenen Harmonie / Kiyoku, Tadashiku, Utsukushiku: Takarazuka Revue in the Era of Beautiful Harmony	開催年 2020年～2020年
国際研究集会 Bushido & The Last Samurai (2003): Ethical Principles and Hierarchies of Values in Late Modernity	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Exuberant or Uncanny? Femininity at Crossroads in Yonebayashi Hiromasa's Animation Movies	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 The Joy of Life at Crossroads in Takahata Isao's Animation Movie The Tale of Princess Kaguya	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Traditional and Modern: The Universe of Ghibli Animation and Family Values in Contemporary Japan	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 Listening To the Voices of the Stars: The Redefinition of Love, Attachment and Emotional Involvement in Makoto Shinkai's Animation Works	開催年 2018年～2018年

国際研究集会 Thus Spoke Buddha: The Religious Foundations of Japan ' s Economic Power	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 『伝統的芸能と近代後半マスメディアの間に存在する宝塚歌劇』	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Traditie japoneza, modernitate occidentala: o formula de succes? Universul spectacolelor Takarazuka	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 The Universality of Adolescence: From the eradication of adolescence to the pursuit of joy as the core of adolescent identity in Makoto Shinkai ' s animation works	開催年 2017年～2017年

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------